



国立大学法人 和歌山大学との包括連携協定の一環として
学生の実践的な学びを支援するインターンシップを実施
～エデュテインメントパークとして、未来を担う人財育成に貢献～



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町、運営：株式会社アワーズ）は、国立大学法人和歌山大学（学長：本山 貢、以下「和歌山大学」）とで締結している包括連携協定に基づき、学生の実践的な学びを支援する教育プログラム「アントレプレナーシップ教育実践演習（インターンシップ）」を実施いたします。

和歌山大学では2023年4月より、単なる起業支援に留まらず、「新しいことに挑戦し続け、自ら成功を積み重ねていける人材」の育成を目指す全学的な組織として、「アントレプレナーシップデザインセンター」を設立し、アントレプレナーシップ教育に取り組んでいます。アドベンチャーワールドはその趣旨に賛同し、座学や現場実習をパーク内にて実施し、学生が「何を大切に働くのか」「どんな人生を歩みたいのか」といった問いに向き合う機会を提供いたします。

【アントレプレナーシップ教育実践演習について】

講義名

アントレプレナーシップ教育実践演習（インターンシップ）

対象学生

和歌山大学 3～4年生 計8名

- 株式会社紀陽銀行：4名
- 株式会社松源：2名
- アドベンチャーワールド：2名

アドベンチャーワールドでの受入れ日

2025年10月6日（月）～10月13日（月）8日間



プログラム内容

・座学・自己探究（1～2日目）

「個人理念」を考えるワークを実施し、学生が自分自身の価値観や働く目的を言語化

・現場実習（2～7日目）

動物の飼育を担当するサファリ課（陸の動物）やマリン課（海の動物）、パーク内で飲食や物販を担当するフード課やギフト課、パークの情報を社会に届ける広報課など、パーク内の複数部署で実習を行い多様な仕事を体験

・社員との交流・フィードバック

各日終了時には社員との座談会やカウンセリングを実施。現場での学びを振り返り、自分の考えを深める機会を設定

・プレゼンテーション（7日目）

「自分の個人理念と働く目的」を発表し、実習を通じて得た学びを整理・共有

【アントレプレナーシップデザインセンターについて】 <https://www.wakayama-u.ac.jp/edc/>

和歌山大学では、学生や将来的には県内高校生や社会人を対象として起業家精神を養う「アントレプレナーシップ教育」の拠点となる「アントレプレナーシップデザインセンター」を2023年4月に新設しました。和歌山圏域における新しい産業や文化を生み出すことができる人材を、地域と連携し育成することを目的としています。地域から頼られる存在となるために、学生に対して、地域企業などとの協働を誘発し、自己満足にとどまらない具体的な（学術）成果を基に、和歌山の価値創造に貢献しています。

【和歌山大学との包括連携協定について】

2023年6月、和歌山大学と株式会社アワーズ（アドベンチャーワールド）は、幅広い分野における相互の地域交流の活性化を促し、産学が相互に連携協力することで、和歌山県の経済・産業の活性化、人財育成の推進を目的として、包括連携協定を締結しました。

協定内容：

- (1) 経済・産業の活性化に関すること
- (2) 人財の育成に関すること
- (3) VR・バーチャルを活用した新たな観光ツーリズムに関すること
- (4) その他、包括連携の目的達成に資すること

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

